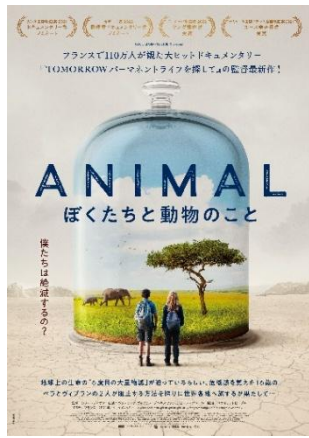


ひろまるシネマ in リファインド

〈地球〉と〈地域〉と〈自分〉のために、新しい選択肢をつくっていきけるような映画をいっしょに見ませんか？



フランスで110万人が観た大ヒットドキュメンタリー「TOMORROW パーマネントライフを探して」のシビル・ディオ監督が、地球上の生命の〈6度目の大量絶滅〉を回避する解決策を求めて世界各地を巡る2人のティーンエイジャーの旅を追ったドキュメンタリー映画『ANIMAL ぼくたちと動物のこと』を上映します！

★公式サイト <https://unitedpeople.jp/animal/>



《とき》 9月26日(金) ※各回とも定員12名
昼の部 15:00~ / 夜の部 18:30~

《ところ》 珈琲淹リファインド ※地下鉄 東西線「菊水駅」より徒歩7分
(白石区菊水8条2丁目1-35/TEL:011-825-9461)

《参加費》 500円 + ワンドリンク以上のオーダーをお願いいたします。

2025 ひろまる

パークゴルフ交流会

恒例となりました当後援会主催「パークゴルフ交流会」を開催します！
ぜひ、皆様お誘い合わせのうえ、ご参加ください。

《とき》 10月 8日(水)
9:00集合 ※小雨決行

《ところ》 西の里パークゴルフクラブ
(北広島市西の里234-1)

《参加費》 2,000円(プレイ代・お弁当代・賞品代)

※詳しくは、広田まゆみ事務所までお問合せください。
TEL:860-8666(担当:松井)



ひろまる“ご近所”マルシェ

《とき》 9月20日(土)
11:00~15:00

《ところ》 広田まゆみ政務事務所
(白石区本郷通7丁目北1-28)
※地下鉄 東西線「南郷7丁目駅」3番出口より徒歩5分

毎月第3土曜日、本郷商店街にある《広田まゆみ政務事務所》にて、『ひろまる“ご近所”マルシェ』を開催しています。

札幌市内や白石区の農業のこと、知っていますか？
地元農家さんの美味しい新鮮野菜を、ご近所さんに届けたい。
そして、農業都市“札幌”の歴史と未来を繋げて行けたらと思います。

地域・ラジオ放送局と、もっと活用はせんか？



《白石区》エフエムしろいし《83.0MHz》
毎週月曜日 10:30~11:30 『広田まゆみのすっきりマンデー』放送中！！



東日本大震災の時にコミュニティFM(地域のラジオ放送局)が、地域に貢献した事例に注目してきました。4期目から、地元白石区、お隣の厚別区のラジオ局とご縁がで、毎週それぞれ1時間の番組を担当してきました。
小学生から、地元の企業・団体の代表の方など、さまざまな実践者の方に出演いただき、私自身が学ぶ過程を、みなさんにも情報「共有」しています。
非常時のためにも、日常的にラジオを活用する機会を増やしていきたいです。



この日のテーマ『さっぽろ農業を応援しよう！』



Facebook(ライブ)・YouTube(録画)でも、それぞれ配信しています！



《厚別区》FMドラマシティ《77.6MHz》

毎週水曜日 19:00~19:59 『広田まゆみのイノベーション北海道

~ひろまるつながるNPOな仲間たち』放送中！！



北海道の底力 発進！



ひろまる通信

立憲民主党

北海道議会議員 広田まゆみの活動報告

2025年9月5日 ひろまる通信 号外
発行 広田まゆみ
住所 〒003-0025
札幌市白石区本郷通7丁目北1-28
TEL:011-860-8666 FAX:011-860-8667
E-mail: office@hiromaru.jp
URL: https://hiromaru.jp



是非つながってください

広田まゆみ 検索

北海道議会議員 広田まゆみ オフィシャルサイト
<https://hiromaru.jp/>

QRコードで簡単にアクセスできます！



Facebookページも更新中です！

- ▼ 広田まゆみ
<https://www.facebook.com/mayumihirota.94>
- ▼ 北海道議会議員 広田まゆみ政務事務所
<https://www.facebook.com/hiromarujimusyo>

X (旧 Twitter) やってます！ @hirotamayumi

暑い中にも秋の気配を感じる頃になりましたが、いながらお過ごしでしょうか？
私も、私月には、議会活動の時期になります。引続き、地域活動も大いにがんばってまいります。是非、ご参加ください。

ひろまる“相談”サロン

毎月1回、白石区内のカフェ・喫茶店などの一画をお借りして、『ひろまる相談サロン(個別の道政相談会)』を開催してきました。9月は「第3回定例道議会」開催中のため、北海道議会にて、皆さんをお待ちしています。
尚、ご希望の方がいましたら、午前中に『議場見学』も可能です！
詳細はお問合せください。(TEL:860-8666)

※ご相談希望の方は、原則予約制(お一人30分)です。

◆日時 9月25日(木) 13:00~16:00

◆場所 北海道議会(札幌市中央区北2条西6丁目)

<https://www.gikai.pref.hokkaido.lg.jp/>

※地下鉄 南北線・東西線・東豊線「大通駅」出口より徒歩9分

10月以降は、少しやり方を変えて、白石区内の各種団体などのお話と相談サロンをセットで開催予定です。
SNSなどでご案内していきますので、是非、下記のQRコードからフォローなど登録をお願いいたします。



◎ひろまる通信ご希望の方は

FAX番号またはご住所をお知らせ下さい。

TEL:011-860-8666

FAX:011-860-8667



《白石区》 毎週月曜日 10:30~11:30
『広田まゆみのすっきりマンデー』放送中！！
エフエムしろいし《83.0MHz》

《厚別区》 毎週水曜日 19:00~19:59
『広田まゆみのイノベーション北海道

~ひろまるつながるNPOな仲間たち』放送中！！
FMドラマシティ《77.6MHz》

『4つの挑戦』～5期目の中間報告～

広田まゆみは、4期目（2019年～）から、以下の『4つの挑戦』を掲げ、活動を進めています。その結果と現状は以下の通りです。

1. 自然保育を含む「北海道らしい子育て環境」の支援制度の創設

< 現状 >

全国的には約17県において、自然保育の認証制度などをはじめ、人材育成のしくみの構築や、子どもの森や自然の中での遊びや育ちを推進する自治体のネットワークへの参画など、なんらかの県としての体系的なとりくみがある一方で、北海道ではまだ制度化や本格的な検討が進んでいません。議会質問を重ねても、現知事の姿勢は消極的な状況です。

< 活動内容 >

- ① 一般質問、常任委員会質問などの中で知事や道庁・道教委へ継続的に提言。
- ② Facebook ライブや北海道未来セミナーを通し、自然保育や森のようちえん、プレイパークなど、子どもたちの遊び環境保障への関心を喚起。セミナーの講演録やYouTubeアーカイブ等でも情報発信を実施。

< まとめ >

- ① 制度化には至っていないものの、議会提言や情報発信により、自然保育への理解促進と議論の芽を育てています。
- ② プレイパークに関しては、こども基本法に基づいて「プレイパーク」の実態把握が今年度行われる予定を注視

2. 地域循環型の経済政策（地産地消・地域経済の再編）

< 現状 >

例えば、北海道米は20年前にくらべると家庭における利用率向上はめざましいものがあります。一方、加工に必要な小麦や木材は、さらに努力が必要です。既存の市場、流通にあわせるのではなく、新しい生産流通のカタチを構築する必要があります。また、家畜飼料なども輸入に依存しています。道政の現状としては、輸出拡大の大きな目標や、外部からの企業・工場の誘致の施策は重点となっていますが、輸入代替や域内循環を高める目標設定が弱いです。

< 活動内容 >

- ① 地域循環経済の指標となる新たな「ものさし」の導入を議会議論で提案。食・観光・エネルギーなどを通じた持続可能な地域経済モデルへ向けた議論を重ねています
- ② 枝廣淳子さん（幸せ経済研究所代表）のセミナー開催や、一般社団法人サス テナビリティダイアログと共催のワークショップなどを開催。

< まとめ >

- ① 道政運営に反映できる具体的な成果は限定的ですが、地域資源の活用とお金の循環に焦点を当てた政策提言を重ねています。
- ② 特に、後期は、総合政策委員会に所属したので、総合計画における成果指標などの見直しについても、議論展開中。

3. 独立型太陽光発電や蓄電池の開発普及 ～災害に強いまちづくりもめざして

< 現状 >

- ・再生可能エネルギーのポテンシャルが高いと言われている北海道だが、ポテンシャルが高い地方ほど、容量不足などで、系統接続（電力会社の電線に繋がる）には制限がある。
- ・再生可能エネルギーのもたらす利益、便益が、地域住民に必ずしも還元されていない。

< 活動内容 >

- ① 2019年、事務所前にDIY型の独立型太陽光発電設備を設置。その電力でコミュニティFMの放送を商店街に街頭放送し、日常的に番組を担当している。災害時の活用については、具体的な協議までいたっていないのが課題。
- ② 独立型太陽光発電のDIY出前講座やワークショップの運営はCOVID-19以降、中断中。
- ③ 独立型太陽光発電のモデルとして、地域型・都市型のそれぞれのモデルを発掘。今後、見学会など、地域に推奨予定。

< まとめ >

- ① 北海道議会議論のなかで、蓄電池の開発普及も言及されるようになったことは、ささやかな成果。
- ② 「家庭菜園やベランダでお花や野菜を作れるように電気だって自分でつくれる」それを実感し、実践する人を白石区をはじめ、全道各地につくっていく。その実践のための講座、ワークショップの開催や、そのことに協力していただけの企業家の方とつながり、情報提供をする。

4. 「社会企業家的地方議員⑧」100名の育成

< 現状 >

- ・地方議会議員は、なり手不足などで、無投票のみならず、定数割れの状況もあるが、圧倒的に性別や年齢が偏っており、新たな地方議会の在り方、役割が求められている。
- ・人口減少、そして、先の見えない時代に、中央政府からのお金の分配に解決策を委ねる政治は限界にあり、社会課題の解決のために企業家的視点が求められている。
- ・認証制度などではないので、手上げ方式ですが、この目標に共感し「名乗りたい」と表明した議員は、現在2名。

< 活動内容 >

- ① 現役地方議員を対象に、企業家精神教育の観点から、ドラッカーの学びも推奨してきた。
- ② Facebook ライブや講演、ワークショップや、社会企業家の人材のいるフォーラム（例えば、アウトドア人材、ゲストハウス開業塾など）を通じて、社会企業家的地方議員の理念を広める努力を継続してきた。

< まとめ >

- 参加希望者の広がりは限定的ですが、次世代への貢献のため、理念普及のための発信は継続されています。
- 地方自治を確立していく観点から、社会企業家的地方議員の誕生に向けて有用と考える「市民ファシリテータ」の養成について、広域自治体の道として、地方自治を確立する観点から、後期のあらたな重点目標として、関係団体と協働してとりくみたい。

4つの挑戦

フィンランド・スウェーデン海外調査（2025/3/24～31）の報告

フィンランドでは、ヨーロッパでただ一つの先住民族、サーミの人々が、自分たちの文化をとっても大切にしていました。特に、3つの異なるサーミ語を再び話せるように、幼稚園や学校で教科書を作ったり、指導者を養成したりしています。フィンランドでは、基本的に、すべての人に教育は無償で保障されていますが、加えて、サーミ語の普及も国の財源で賄われています。国家予算に占める教育費の割合が、日本の2倍近いです。



また、「ネウボラ」という制度では、妊娠がわかったときから、誰でも無料で健康チェックや相談を受けられます。外国から来た人たちも、通訳がつくので、自分の言葉で安心してサービスを受けられます。



子どもたちが遊ぶ「住民公園」（視察したエスポー市で住民公園と呼びます。ヘルシンキ市では、プレイパーク）では、子どもたち自身が遊び方やルールを決めます。転んで怪我をしても自己責任という考え方が強く、保護者からの苦情は少ないそうです。公園で子どもたちにボール遊びの禁止や子どもたちの遊ぶ声がクレームになる日本の事例を伝えたら目が点になっていました。

図書館は、本を借りるだけでなく、「市民のリビング（居間）」のように、ゲームや3Dプリンターでの創作、勉強など、色々な活動ができる場所になっていました。最初は、エスポー市のユースセンターが併設されている図書館にいったせいかと思いましたが、首都ヘルシンキ市の最大の図書館も、基本的に、若い人たちがたくさん思い思いに過ごす場が確保されており、広い遊び場も用意されていました。

次にスウェーデンです。フィンランドエアのストライキに遭遇し、大幅に視察日程がカットになり、短縮バージョンになりましたが、国会訪問含めて、すべての方にお目にかかることができたのは幸いでした。

印象的だったことが、パソコンやスマホなどの「デジタル技術」を使うことが、「みんなが幸せに暮らせる社会」を作るための大切な目的であることがはっきりしていました。民間銀行が作ったデジタルカードは、ほとんどの成人が利用していて、役所の手続きや病

院の予約など、多くのことをこれ一つで済ませられます。単純なことは機械にまかせ、人間は、もっと重要な特別なことに時間を割く必要があります。日本の場合は、デジタル化そのものが目的化してしまっ、むしろ人間に些末な仕事を増やしているような気がします。



「言語の力」というNPO法人も訪問しました。シリアなどからの難民の人たちがスウェーデン語を学べるように、テレビ番組の字幕を使った無料のスマホアプリを開発し、提供しています。この活動は、国連などからも高く評価されています。日本における日本語を母国語としない人たちへの対応は遅れているので、非常に有意義でした。基本的に、語学の習得や資格取得などを支援がある一方で、働くことも強く求められる社会です。福祉国家と言われますが、厳しい社会でもあります。

学校でのパソコンを使った授業（ICT教育）については、国と先生たちの間で考え方の違いもありますが、先生たちは子どもたちにとって何が一番いいかを考えて、パソコンも紙の教科書も両方をうまく使っているそうです。

スウェーデンでは、**デジタルに「使われる」のではなく、デジタルを使って「社会の困りごとをどう解決するか」**という視点がとても大切にされていると感じました。

最後に、フィンランド、スウェーデンともに、核シェルターの設置が国民保護法に基づいて、義務化されており、ネウボラや、学校などに準備がされていました。公的施設だけではなく、一定規模以上の商業施設など、民間にも求められています。



この国民保護の在り方について、日本・北海道も参考にすべきだと思いますので、改めて勉強会などを開催したいと思います。

さて、この訪問のご縁で、8月21日には、スウェーデン日本議員友好連盟の国会議員団10名が北海道議会を訪問され、若者のエンパワーメントをもとに、意見交換がありました。ポリアナ・オーベリ団長から、北海道議会におきスウェーデンとの友好議連の結成もご提案いただき、遅くとも1年以内には実現するべく今後とも交流連携を重ねていきます。

ほほ 毎月「質問」しています。～前期は《文教常任委員会/北方領土対策特別委員会》に所属～

- 《2025年7月》
 - ◇総合政策常任委員会
 - ・政策評価について
 - ・協働推進基本指針について
 - ◇人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会
 - ・北海道人口ビジョン及び北海道総合戦略について



北海道議会議員 広田まゆみ オフィシャルサイトでは、「活動報告」のほか、これまでの「道議会議事録（録画配信あり）」も掲載していますので、併せて御覧ください。QRコードで簡単にアクセスできます！
<https://hiomaru.jp/>

- 《8月》総合政策/人口減少問題・地方分権改革等調査
 - ・ほっかいどう応援国会議員について
 - ・北海道創生総合戦略における社会減対策の在り方などについて

- ◆ 前期に登壇した《一般質問》
 - 『令和5年 第3回定例道議会 一般質問』_2023.09.27
 - 『令和6年 第3回定例道議会 一般質問』_2024.09.24
 - 『令和7年 第1回定例道議会 一般質問』_2025.03.06

後期は《総合政策常任委員会/人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会》に所属